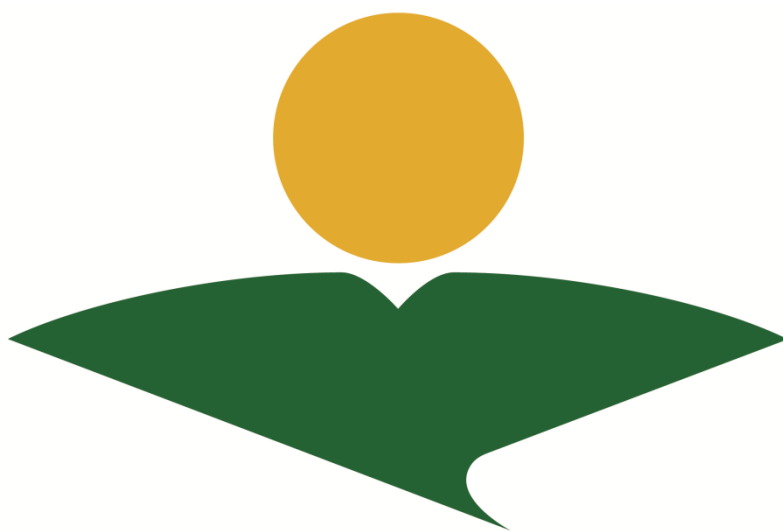


2020（令和2）年度 事業報告書

※事業年度 2020年4月1日～2021年3月31日



学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学

Kumamoto Health Science University

目 次

I 法人の概要

- 1 建学の精神、基本理念及びミッション
- 2 沿革
- 3 役員・評議員等
- 4 設置する学校・学部・学科等
- 5 入学定員及び学生数
- 6 教職員の概要
- 7 卒業生の概要

II 事業の概要

- 1 主な事業の内容
 - (1) 全体概要
 - (2) 教育に関すること
 - (3) 研究に関すること
 - (4) 経営に関すること
 - (5) 業務運営・その他に関すること
- 2 学生の動向
 - (1) 入学試験における志願等の状況
 - (2) 国家試験の合格状況
 - (3) 卒業生の進路状況

III 財務の概要

- 1 事業活動収支計算書（過去 5 年分）
- 2 貸借対照表（過去 5 年分）
- 3 財務比率（過去 5 年分）

私立学校法の一部を改正する法律（平成 16 年法律第 42 号）の施行に伴う文部科学省通知（16 文科高第 304 号）で示された様式に従い、①法人の概要、②事業の概要、③財務の概要に区分して作成。

また、②事業の概要については、今回の事業報告書から書式を変更し、中長期計画と連動した「令和 2 年度の主な取組み」の達成状況を示すとともに、達成目標に対する目標達成率を数値で示した。

I 法人の概要

1 建学の精神、基本理念及びミッション

(1) 建学の精神

建学の精神は、「優れた医療技術者の養成を通じて社会に貢献すること」です。

これは、予防医学を主務とする財団法人化学及血清療法研究所が、同財団の公益事業の一環として 1959 年に設立した、本学の前身の「化血研衛生検査技師養成所」から継承されているものです。

(2) 基本理念

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、以下の基本理念を掲げています。

- 1) 保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行う
- 2) 人間と社会に深い洞察力を持つ人材の育成
- 3) 高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献できる人材の育成
- 4) 豊かな人間性を備え、創造性に富む、活力ある人材の育成

(3) ミッション

建学の精神や基本理念を踏まえ、本学のミッションを次のように定めています。

保健医療分野の教育と研究を通して社会に貢献できる医療技術者を養成する。

2 沿革

1959(昭和 34)年 4 月	化血研衛生検査技師養成所 創設 (熊本市古京町)
1960(昭和 35)年 4 月	熊本医学技術専門学校と名称変更
1968(昭和 43)年 4 月	学校法人銀杏学園 銀杏学園短期大学 開学 (熊本市清水町)
1971(昭和 46)年 1 月	専攻科設置、臨床検査技師国家試験受験資格が与えられる
1972(昭和 47)年 9 月	3 年制への学制変更届出
1973(昭和 48)年 4 月	同上受理、新制度による短期大学 発足
1983(昭和 58)年 4 月	2 年制の看護科設置
2002(平成 14)年 12 月	熊本保健科学大学設置認可
2003(平成 15)年 4 月	熊本保健科学大学 開学 (熊本市和泉町) (保健科学部 衛生技術学科、看護学科) 銀杏学園短期大学募集停止 (衛生技術科、看護科)
2004(平成 16)年 3 月	銀杏学園短期大学 看護科 終了
2006(平成 18)年 1 月	同短期大学 衛生技術科 終了、同短期大学廃止認可
2007(平成 19)年 4 月	熊本保健科学大学 リハビリテーション (リハ) 学科 新設 (理学療法学専攻、作業療法学専攻) 熊本保健科学大学 助産別科 新設
2008(平成 20)年 10 月	熊本保健科学大学大学院 (修士課程) 設置認可
2009(平成 21)年 4 月	大学院保健科学研究科 保健科学専攻 開設 熊本保健科学大学キャリア教育研修センター 開設
2009(平成 21)年 10 月	キャリア教育研修センター認定看護師教育課程 新設 (脳卒中リハ看護分野)
2011(平成 23)年 4 月	衛生技術学科を医学検査学科と改称 リハ学科言語聴覚学専攻 新設
2012(平成 24)年 4 月	認定看護師教育課程 (慢性心不全看護分野) 新設
2013(平成 25)年 4 月	リハ学科作業療法学専攻を生活機能療法学専攻と改称
2017(平成 29)年 4 月	地域包括連携医療教育研究センターを設置 認定看護師教育課程 (認知症看護分野) 新設
2018(平成 30)年 3 月	認定看護師教育課程 (慢性心不全看護分野) 閉講
2018(平成 30)年 4 月	学生相談・修学サポートセンターを設置
2019(令和元)年 10 月	生物毒素・抗毒素共同研究講座 設置
2020(令和 2)年 4 月	認定看護師教育課程 (脳卒中看護分野) 開設 キャリア教育研修センター特定行為研修課程 新設
2020(令和 2)年 10 月	品質保証・精度管理学共同研究講座 設置

3 役員・評議員等

※2021(令和 3)年 3 月 31 日現在

(1) 理事／定員 9～13 名、現員 10 名

区 分	氏 名	選任区分
理事長*	木下 統 晴	理事の互選
理事	竹屋 元 裕	学 長
理事 (外部理事)	福 田 稠	評議員
理事	檜 原 真 二	評議員
理事	渡 辺 雄 一	評議員
理事 (外部理事)	梶 田 浩	評議員
理事 (外部理事)	副 島 秀 久	学識経験者
理事 (外部理事)	高 橋 毅	学識経験者
理事 (外部理事)	猪 股 裕紀洋	学識経験者
理事 (外部理事)	永 里 敏 秋	学識経験者
理事	木下 統 晴	学識経験者

*令和 3 年 3 月 19 日付け新任

(2) 監事／定員 2 名、現員 2 名

区 分	氏 名	選任区分
監事	林 田 喜 一	監 事
監事	足 達 聡	監 事

(3) 顧問

区 分	氏 名	選任区分
顧問	崎 元 達 郎	

(4) 名誉顧問

区 分	氏 名	選任区分
名誉顧問	米 満 弘 之	
名誉顧問	小 野 友 道	

(5) 評議員／定員 19～27 名、現員 24 名

氏名	選任区分	所属・役職等
竹屋 元裕	法人職員	熊本保健科学大学学長
檜原 真二	法人職員	熊本保健科学大学次期副学長
渡辺 雄一	法人職員	熊本保健科学大学次期学部長
今村 修	法人職員	学校法人銀杏学園法人局長
河瀬 晴夫	法人職員	熊本保健科学大学事務局長
瀧口 巖	卒業生	熊本保健科学大学同窓会連合会長
原田 精一	卒業生	同医学検査学科同窓会長
中野 博之	卒業生	同看護学科同窓会長
笹本 陵太	卒業生	同リハビリテーション学科同窓会長
池田 夕希	卒業生	同助産別科同窓会長
福田 稠	学識経験者	熊本県医師会長
園田 寛	学識経験者	熊本市医師会長
福吉 葉子	学識経験者	熊本県臨床検査技師会副会長
本 尚美	学識経験者	熊本県看護協会会長
坂崎 浩一	学識経験者	熊本県理学療法士協会会長
内田 正剛	学識経験者	熊本県作業療法士会長
山本 恵仙	学識経験者	熊本県言語聴覚士会長
平田 稔彦	学識経験者	熊本赤十字病院院長
米満 弘一郎	学識経験者	寿量会理事長
毛利 浩一	学識経験者	(株)フードパル熊本代表取締役
内田 昭治	学識経験者	西里校区自治協議会長
馬場 啓	学識経験者	銀杏学園顧問弁護士
榊田 浩	学識経験者	化血研常務理事
藤井 隆	学識経験者	前化血研副理事長

4 設置する学校・学部・学科等

- 熊本保健科学大学／保健科学部
 - 医学検査学科
 - 看護学科
 - リハビリテーション学科
 - 理学療法学専攻、生活機能療法学専攻、言語聴覚学専攻
- 熊本保健科学大学大学院／保健科学研究科／保健科学専攻(修士課程)
- 熊本保健科学大学助産別科
- 熊本保健科学大学キャリア教育研修センター
 - 認定看護師教育課程／脳卒中看護分野、認知症看護分野
 - 特定行為研修課程

5 入学定員及び学生数

※2020(令和2)年5月1日現在

学部	学科／専攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
保健科学部	医学検査	100	400	116	119	118	103	456	
	看護	100	400	110	131	111	108	460	
	リハビリテーション	理学療法学	40	160	46	46	47	43	182
		生活機能療法学	40	160	49	39	43	40	171
		言語聴覚学	40	160	44	49	44	43	180
	リハ学科 計	120	480	139	134	134	126	533	
保健科学部 計		320	1,280	365	384	363	337	1,449	
保健科学研究科		10	20	8	6	—	—	14	
助産別科		20	20	21	—	—	—	21	
キャリア教育研修センター		8	8	5	—	—	—	5	
学生数 合計		358	1,328	—	—	—	—	1,489	

6 教職員の概要

(1) 教員数

※()は兼任を含む。

※2020(令和2)年5月1日現在

学部	学 科	専任教員数					臨時 教員	兼任	合計
		教授	准教授	講師	助教	計			
保健科学 部	医学検査学科	12	7	8	3	30	1	180	308
	看護学科	10	10	13	1	34	26		
	リハビリテーション学科	12	9	11	2	34	3		
保健科学部 計		34	26	32	6	98	30	180	308
保健科学研究科(うち院専任)		0(20)	0(11)	0(5)	0(0)	0(36)	—	18	18(36)
助産別科		1	0	2	0	3	—	20	23
キャリア教育研修センター		1	1	0	0	2	—	18	20
地域包括連携医療教育研究センター		1	1	0	0	2	2	0	4
学生相談・修学サポートセンター		1	0	0	0	1			1
共同研究講座		1	0	0	1	2			
合 計		39	28	34	7	108	32	236	374

(2) 職員数

※2020(令和2)年5月1日現在

正職員	嘱託	パート (アルバイトも含む)	派遣	合計
27	27	10	1	65

7 卒業生の概要

※2021(令和3)年3月31日現在

※卒業生総数：9,783名

(1) 熊本医学技術専門学校 卒業生 327名

(2) 銀杏学園短期大学 卒業生 4,327名

衛生技術科 3,457名、衛生技術専攻科 14名、看護科 856名

(3) 熊本保健科学大学 卒業生 5,129名 (令和元年度卒：366名)

医学検査学科(含:旧名称) 1,626名 看護学科 1,673名

リハビリテーション学科 1,234名

理学療法学専攻 494名、生活機能療法学専攻(含:旧名称) 447名、

言語聴覚学専攻 293名

助産別科 282名

大学院保健科学研究科 95名

キャリア教育研修センター認定看護師教育課程 217名

脳卒中看護(含:旧課程)123名、慢性心不全看護 24名、認知症看護 70名

キャリア教育研修センター特定行為研修課程 2名

Ⅱ 事業の概要

1 主な事業の内容

(1) 全体概要

2020(令和 2)年度は、世界中が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、様々な制約を受ける中での大学運営が求められました。

本学では、新型コロナウイルスの感染状況に応じ、危機対策本部（本部長：竹屋学長）を中心として、新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ（代表：川口教授）や新型コロナウイルス PCR 検査ワーキンググループ（代表：楢原教授）と連携をとりながら、コロナ下での大学運営を行いました。基本的な考え方として、文部科学省等からの各種通知を精査し、学生に対して以下の3つの点が保証されるような手段や方法を検討し、実行しました。

- ①「単位の認定」に影響が出ないこと
- ②「学士号の取得」に影響が出ないこと
- ③「国家試験の受験資格」に影響が出ないこと

具体的には、4月27日から遠隔授業を開始するとともに、遠隔授業受講のための修学支援として、学部学生全員に対して一律30,000円を支給しました。また、緊急事態宣言が解除されたことを受け、6月1日から「実技を伴う科目」や「機器の取り扱いに関する科目」などに限定して対面式の授業を開始しましたが、昼食時の感染リスクを抑制するため、分散登校により学生は基本的に午前または午後みの登校としました。

後期セメスターからは、授業の質を上げるため以下の二つの対応を進めました。

- 1) 対面による授業を増やすため、本学独自の学内 PCR 検査を全学生・教職員を対象に無料で実施しました。
- 2) 遠隔授業の質を上げるため、新たに学習管理システム（LMS）として manaba（朝日ネットによるクラウド型教育支援システム）を試行的に導入しました。

さらに、令和 2 年度は大学機関別認証評価の受審年度（第 3 サイクル）であったため、リエゾン・オフィスを中心に受審の準備を進めました。コロナ禍の影響で、実地調査は Web 会議方式での実施でしたが、理事長・学長以下全学的な体制で対応し、結果的に 3 サイクル連続で「改善を要する点」、「公表すべき参考意見」とともに該当なしで「評価基準に適合している」との評価を得ることができました。

(2) 教育に関すること

- 1) 「総合型選抜【新規】」等の実施による「意欲ある受験生」の選抜
〔目標〕 新たな入試制度による厳正な選抜の実現（定員充足率 115%）
 - ・コロナ禍の影響で対面による募集広報活動が大きく制限される中、受験者の動向が予測しづらく、最終的な定員充足率は 105%【目標達成率 91%】
 - ・すべての入試区分において、感染対策に係る国の指針（入室制限、消毒等）に沿って、混乱することなく入学者選抜を実施
 - ・初めて実施された「総合型選抜」では、エントリー段階での倍率が 2.8 倍を超え、リーダーシップ選抜の趣旨に適う受験生を確保
 - ・「学校推薦型選抜(公募)」における推薦書や「一般選抜」における志願者調書の点数化を始めとして、新たなルールに沿った評価法を実現

- 2) アセスメントプランに基づいた学修成果の検証とフィードバック
〔目標〕 アセスメントプランの着実な実行（実行率 100%）
 - ・アセスメントプランに基づき、以下のとおり実施【目標達成率 100%】
 - 国家試験合格率、就職・進学率、進級・卒業率、中退率等の分析（4～5 月）
 - 基礎力レポート I（1 年次 4 月）→分析資料を共有フォルダ上で公開
 - 基礎力レポート II（3 年次 10～11 月）→分析資料を共有フォルダ上で公開
 - 学修行動調査（1 年次 9 月、2～4 年次 4 月）
 - 授業改善アンケート（前期：回収率 61.1%、後期：回収率 53.8%）
 - 卒業／修了時アンケート（2 月）、卒業生アンケート（12 月：回収率 59.4%）
 - 就職先アンケート（2 月：191 施設を対象に実施）

- 3) SG 担任を中心とした修学ポートフォリオ等を活用した学生支援
〔目標〕 セメスターごとの学生へのフィードバック（実施率 100%）
 - ・SG 担任による学生面談：コロナ禍の影響で指定学生及び希望学生のみ実施【目標達成率 70%】
 - ・学生による修学ポートフォリオへの入力率 94%
 - ・ディプロマサプリメントとしての活用：システムのカスタマイズを実施

(3) 研究に関すること

- 1) 品質保証・精度管理講座（仮称）の新設等による共同研究の拡充
〔目標〕 共同研究講座と学部・大学院研究との連携の実現（連携事例 1 件）
 - ・ 品質保証・精度管理に関する新設科目を文科省へ届出（令和 3 年度開講）
【目標達成率 100%】
 - ・ 一般企業から新設講座へ入学できるように大学院社会人選抜の出願資格を変更
 - ・ 共同研究講座の特命教授が、大学院生 1 名の研究指導を担当

- 2) 動物実験施設に係る環境整備計画の策定
〔目標〕 動物実験施設の改修方針の決定（今年度中）
 - ・ 動物実験施設ワーキンググループにおいて方針案の策定【目標達成率 100%】
 - ・ 2 号館飼養保管室の空調不具合に伴う点検調整作業の実施
 - ・ 動物実験施設の空調フィルタ清掃を定期的にも実施（2 ヶ月に 1 回）

(4) 経営に関すること

- 1) PDCA サイクルの循環による中長期計画の着実な実行
〔目標〕 年次計画との同期化による中長期計画の達成度評価とローリング
(対計画進捗率 100%)
 - ・ 令和元年度から導入した新たな枠組みでの中期計画の実行状況を踏まえ、令和 2 年 6 月までに達成度評価を実施
 - ・ 達成度評価に基づき、中期計画のローリング（期中修正）を実施し、令和 2 年 9 月の理事会・評議員会で承認【目標達成率 100%】

- 2) 財政の適正化による次の成長戦略のための体力回復
〔目標〕 収支予算の達成（経常収支差額の予算達成率 100%）
 - ・ 経常収支差額±ゼロの収支予算に対して、コロナ禍に伴う支出の減少もあり、経常収支差額は黒字を確保できる見込み【目標達成率 100%】

- 3) 学科・専攻等の新設／定員増に向けた綿密な事前調査と設置準備
〔目標〕 競争力のある学科・専攻等の新設／増員計画の策定と申請
(対計画進捗率 100%)
- ・理学療法学専攻の収容定員増に向けた綿密な調査・検討を実施し、令和 2 年 12 月の理事会で意見聴取を行ったうえで、令和 3 年 3 月の理事会・評議員会において文部科学省に増員申請を行うことを承認【目標達成率 100%】
- 4) 大学という成熟マーケットにおける継続的な競争優位性と競合他大学の動向を踏まえた競争戦略の検討
〔目標〕 継続的な競争優位性と競合他大学の動向を踏まえた競争戦略の策定
(対計画進捗率 100%)
- ・客観的な定量データによる本学の現状整理や、本学を取り巻く環境についての情報整理を踏まえて、マーケティング戦略（競争戦略）のアウトラインを策定【目標達成率 100%】

(5) 業務運営・その他に関すること

- 1) 大学の内部質保証体制の確立
〔目標〕 教育改革推進会議主導による 3 ポリシー達成度の検証（随時）
〔目標〕 各種 IR データに基づくマネジメント（随時）
- ・教学マネジメント指針や各種規程を反映させたアセスメントプランの見直しを実施
 - ・学外有識者を構成員とする大学評価委員会の開催（3 月）
【目標達成率 100%】
 - ・教学 IR による分析と評価をアセスメントプランに従って適切に実施
【目標達成率 100%】
 - ・IR データを活用して自己点検評価書を作成
- 2) 「第 3 期大学機関別認証評価」 実地調査に向けた全学的な対応の実現
〔目標〕 リエゾン・オフィスを中心とした全学的な体制の強化
(適合の獲得、重大な指摘事項 0)
- ・日本高等教育評価機構が定める評価基準に適合していると認定（3 月）
 - ・「改善を要する点」、「公表すべき参考意見」ともに該当なし
【目標達成率 100%】

- ・優れた点として以下の2点を取り上げられた。
 - ① 快適な学修環境の整備に努めている点
 - ② 学生の到達度をレーダーチャートで可視化できる「修学ポートフォリオ」システムを導入している点

3) 「大学コンソーシアム熊本」で形成するプラットフォームへの積極的な参画
〔目標〕 各種委員会等への委員の派遣（委員会及び作業部会への参画）
各種取組に対する目標値の設定とその達成（達成率 100%）

- ・プラットフォーム作業部会では、熊本学園大、崇城大とともに中核として参画
【目標達成率 100%】
- ・コロナ禍の影響で中止になった取組以外は、当初の目標どおりに参画
【目標達成率 60%】
- ・企画・運営委員会において、中期計画に基づいた適切な提案を実施

2 学生の動向

(1) 入学試験における志願等の状況

○保健科学部全体

	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
合計	320	1,160	657	336	3.6	1.8

○保健科学部／医学検査学科

選抜区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
総合型	5	12	5	5	2.4	2.4
学校推薦型(指定校)	15	15	15	15	1.0	1.0
学校推薦型(公募)	30	47	30	30	1.6	1.6
一般	40	154	109	47	3.9	1.4
共通テスト利用(前期)	5	108	66	8	21.6	1.6
共通テスト利用(後期)	5	2	2	0	0.4	1.0
合計	100	338	227	105	3.4	1.5

○保健科学部／看護学科

選抜区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
総合型	5	13	5	5	2.6	2.6
学校推薦型(指定校)	15	13	13	13	0.9	1.0
学校推薦型(公募)	30	67	30	30	2.2	2.2
一般	40	223	123	50	5.6	1.8
共通テスト利用(前期)	5	104	45	6	20.8	2.3
共通テスト利用(後期)	5	7	4	1	1.4	1.8
合計	100	427	220	105	4.3	1.9

○保健科学部／リハビリテーション学科

選抜区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
総合型	9	20	9	9	2.2	2.2
学校推薦型(指定校)	15	15	15	15	1.0	1.0
学校推薦型(公募)	36	83	43	43	2.3	1.9
一般	45	144	73	48	3.2	2.0
共通テスト利用(前期)	9	128	69	10	14.2	1.9
共通テスト利用(後期)	6	4	1	1	0.7	4.0
社会人	若干名	1	0	0	----	----
合計	120	395	210	126	3.3	1.9

○助産別科

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	10	22	10	10
一般	10	41	11	10
合 計	20	63	21	20

○大学院保健科学研究科／保健科学専攻

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	10	3	2	2
社会人Ⅰ期		1	1	1
一般		0	0	0
社会人Ⅱ期		3	3	3
合 計	10	7	6	6

(2) 国家試験の合格状況

資格名	2018年度		2019年度		2020年度		
	全国 (%)	本学 (%)	全国 (%)	本学 (%)	全国 (%)	本学 (%)	合格/受験 (人)
臨床検査技師	75.2	83.2	71.5	93.2	80.2	93.0	93/100
看護師	89.3	96.7	89.2	97.2	90.4	99.1	107/108
保健師	81.8	90.0	91.5	100	94.3	100	20/20
理学療法士	85.8	93.8	86.4	97.7	79.0	88.1	37/42
作業療法士	71.3	91.1	87.3	97.6	81.3	94.9	37/39
言語聴覚士	68.9	97.8	65.4	93.6	69.4	92.3	36/39
助産師	99.6	100	99.4	100	99.6	100	21/21

(3) 卒業生の進路状況

※2021(令和3)年3月31日現在

注：九州には、沖縄も含む。卒業生には2020(令和2)年9月卒も含む。

【医学検査学科】

卒業生数	102	※進路決定率 98.9% (93/94 その他を除く)			
就職者数	89	臨床検査技師	87	県内	25
				県外(九州内)	35
				県外(九州外)	27
		上記以外	2 (資格不要)	県内	1
				県外(九州内)	1
進学者数	4	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
未定	1				
その他(*1)	8				

【看護学科】

卒業生数	108	※進路決定率 99.1% (106/107 その他を除く)			
就職者数	97	看護師	93	県内	60
				県外(九州内)	19
				県外(九州外)	14
		保健師	3	県内	3
		上記以外	1	県外(九州外)	1
進学者数	9	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
未定	1				
その他(*1)	1				

【リハビリテーション学科理学療法学専攻】

卒業生数	43	※進路決定率 97.4% (38/39 その他を除く)			
就職者数	38	理学療法士	37	県内	23
				県外(九州内)	11
				県外(九州外)	3
		上記以外	1 (資格不要)	県外(九州外)	1
未定	1	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
その他(*1)	4				

【リハビリテーション学科生活機能療法学専攻】

卒業生数	40	※進路決定率 94.7% (36/38 その他を除く)			
就職者数	36	作業療法士	36	県内	22
				県外(九州内)	11
				県外(九州外)	3
未定	2	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
その他(*1)	2				

【リハビリテーション学科言語聴覚学専攻】

卒業生数	41	※進路決定率 100% (37/37 その他を除く)			
就職者数	36	言語聴覚士	36	県内	16
				県外(九州内)	14
				県外(九州外)	6
進学者数	1	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
その他(*1)	4				

【助産別科】

卒業生数	21	※進路決定率 100% (21/21)			
就職者数	21	助産師	21	県内	11
				県外(九州内)	7
				県外(九州外)	3

令和2年度の財務状況について

学校法人銀杏学園の令和2年度決算は、教育活動収入が2,585百万円、教育活動外収入が44百万円だったのに対し、教育活動支出は2,478百万円でした。

この結果、経常収支差額は+151百万円（前年度比+28百万）となり、収支の均衡を達成することができました。

事業活動収支計算書

（平成28年度～令和2年度）

（単位：百万円）

科目		H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	科目の説明	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	2,021	2,016	2,027	1,999	2,003	学生から納入された入学金、授業料等
		手数料	44	44	42	39	33	入学検定料、証明手数料等
		寄付金	14	3	25	75	52	教育振興寄付金等
		経常費等補助金	307	288	306	292	372	私立大学等経常費補助金等
		付随事業収入	3	4	2	28	58	受託研究に係る収入
		雑収入	32	50	26	40	67	上記以外の教育活動に係る収入
		教育活動収入の部	2,421	2,405	2,428	2,473	2,585	
	支出	人件費	1,186	1,262	1,302	1,332	1,333	教職員の給与等
		教育研究経費	919	878	869	877	946	教育研究に要する経費および減価償却額
		管理経費	190	337	196	182	199	管理運営に要する経費および減価償却額
徴収不能額等		1	0	1	0	0	徴収不能見込額を引当金計上する場合に使用	
教育活動支出の部		2,296	2,477	2,368	2,391	2,478		
教育活動収支差額		125	△72	60	82	107		
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	57	44	48	41	44	施設設備、現預金の運用収入
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	収益事業収入等
		教育活動外収入の部	57	44	48	41	44	
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0	借入金利息、学校債利息等
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	上記以外の教育活動外に係る支出
		教育活動外支出の部	0	0	0	0	0	
教育活動外収支差額		57	44	48	41	44		
経常収支差額		182	△28	108	123	151		
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0	0	0	資産売却時の帳簿価額との差額
		その他の特別収入	17	52	11	11	18	現物寄付、施設設備補助金等
		特別収入の部	17	52	11	11	18	
	支出	資産処分差額	2	0	0	6	3	資産を廃棄除却した時の簿価
		その他の特別支出	3	0	0	0	0	災害損失、過年度修正額等
特別収支差額		12	52	11	5	15		
基本金組入前当年度収支差額		194	24	119	128	166		
基本金組入額合計		△424	△1,213	△561	△522	△559	将来計画に基づき組み入れる額	
当年度収支差額		△230	△1,189	△442	△394	△393		
前年度繰越収支差額		△1,103	△1,333	△2,522	△2,964	△3,358		
基本金取崩額		0	0	0	0	0		
翌年度繰越収支差額		△1,333	△2,522	△2,964	△3,358	△3,751		
事業活動収入計		2,495	2,501	2,487	2,525	2,647	企業会計でいう収益	
事業活動支出計		2,301	2,477	2,368	2,397	2,481	企業会計でいう費用	

貸借対照表

（平成28年度～令和2年度）

（単位：百万円）

科目	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	科目の説明
資産の部						
固定資産	7,101	8,633	8,110	8,004	8,583	土地、建物、構築物、機器備品、図書等
流動資産	2,717	1,598	1,820	2,080	1,896	現預金、未収入金、前払金等
資産の部合計	9,818	10,231	9,930	10,084	10,479	
負債の部						
固定負債	165	156	162	175	177	退職給与引当金
流動負債	537	936	509	522	750	未払金、前受金等
負債の部合計	702	1,092	671	697	927	
純資産の部						
基本金	10,449	11,661	12,223	12,745	13,304	
第1号基本金	10,307	11,519	12,050	12,572	13,131	固定資産のうち教育の用に供されるものの価額
第4号基本金	142	142	173	173	173	恒常的に保持すべき資金の額
繰越収支差額	△1,333	△2,522	△2,964	△3,358	△3,751	
純資産の部合計	9,116	9,139	9,259	9,387	9,553	
負債及び純資産の部合計	9,818	10,231	9,930	10,084	10,480	

財務比率

事業活動収支関係比率

※評価指標 ↑: 高い値が良い ↓: 低い値が良い - : どちらともいえない

(平成28年度～令和2年度)

比率	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	※	算式 (×100)
人件費比率	47.9%	51.5%	52.6%	53.0%	50.7%	↓	人件費/経常収入
人件費依存率	58.7%	62.6%	64.2%	66.7%	66.6%	↓	人件費/学生生徒等納付金
教育研究経費比率	37.1%	35.8%	35.1%	34.9%	36.0%	↑	教育研究経費/経常収入
管理経費比率	7.7%	13.7%	7.9%	7.2%	7.5%	↓	管理経費/経常収入
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	↓	借入金等利息/経常収入
事業活動収支差額比率	7.7%	1.0%	4.8%	5.1%	6.3%	↑	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入
基本金組入後収支比率	111.2%	192.2%	123.0%	119.6%	118.9%	↓	事業活動支出/(事業活動収入-基本金組入額)
学生生徒等納付金比率	81.6%	82.3%	81.9%	79.5%	76.2%	-	学生生徒等納付金/経常収入
寄付金比率	0.8%	0.4%	1.5%	3.4%	2.3%	↑	寄付金/事業活動収入
経常寄付金比率	0.6%	0.1%	1.0%	3.0%	2.0%	↑	教育活動収支の寄付金/経常収入
補助金比率	12.7%	13.3%	12.3%	11.6%	14.4%	↑	補助金/事業活動収入
経常補助金比率	12.4%	11.7%	12.4%	11.6%	14.2%	↑	教育活動収支の補助金/経常収入
基本金組入率	17.0%	48.5%	22.6%	20.7%	21.2%	↑	基本金組入額/事業活動収入
減価償却額比率	15.5%	15.2%	16.8%	16.7%	16.7%	-	減価償却額/経常支出
経常収支差額比率	7.3%	-1.1%	4.3%	4.9%	5.8%	↑	経常収支差額/経常収入
教育活動収支差額比率	5.1%	-2.9%	2.5%	3.3%	4.2%	↑	教育活動収支差額/教育活動収入計

貸借対照表関係比率

(平成28年度～令和2年度)

比率	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	※	算式 (×100)
固定資産構成比率	72.3%	84.4%	81.7%	79.4%	81.9%	↓	固定資産/総資産
有形固定資産構成比率	56.5%	66.0%	65.2%	66.3%	66.6%	↓	有形固定資産/総資産
特定資産構成比率	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.6%	↑	特定資産/総資産
流動資産構成比率	27.7%	15.6%	18.3%	20.6%	18.1%	↑	流動資産/総資産
固定負債構成比率	1.7%	1.5%	1.6%	1.7%	1.7%	↓	固定負債/(負債+純資産)
流動負債構成比率	5.5%	9.1%	5.1%	5.2%	7.2%	↓	流動負債/(負債+純資産)
内部留保資産比率	35.6%	22.3%	27.2%	26.0%	23.5%	↑	(運用資産-総負債)/総資産
運用資産余裕比率	176.4%	114.8%	138.8%	133.0%	121.7%	↑	(運用資産-外部負債)/事業活動支出
純資産構成比率	92.8%	89.3%	93.2%	93.1%	91.2%	↑	純資産/(負債+純資産)
繰越収支差額構成比率	△13.6%	△24.6%	△29.8%	△33.0%	△35.8%	↑	繰越収支差額/(負債+純資産)
固定比率	77.9%	94.5%	87.6%	85.3%	89.8%	↓	固定資産/純資産
固定長期適合率	76.5%	92.9%	86.1%	83.7%	88.2%	↓	固定資産/(純資産+固定負債)
流動比率	505.0%	171.0%	357.7%	399.0%	253.0%	↑	流動資産/流動負債
総負債比率	7.2%	10.7%	6.8%	6.9%	8.8%	↓	総負債/総資産
負債比率	7.7%	11.9%	7.2%	7.4%	9.7%	↓	総負債/純資産
前受金保有率	789.3%	444.7%	484.2%	612.9%	577.9%	↑	現金預金/前受金
退職給与引当特定資産保有率	103.0%	108.7%	105.1%	97.0%	96.3%	↑	退職給与引当特定資産/退職給与引当金
基本金比率	99.4%	96.4%	99.9%	99.6%	99.4%	↑	基本金/基本金要組入額
減価償却比率	47.8%	51.2%	54.3%	57.0%	54.8%	-	減価償却累計額/減価償却資産取得価額(図書を除く)
積立率	84.8%	63.7%	59.3%	55.1%	53.2%	↑	運用資産/要積立額